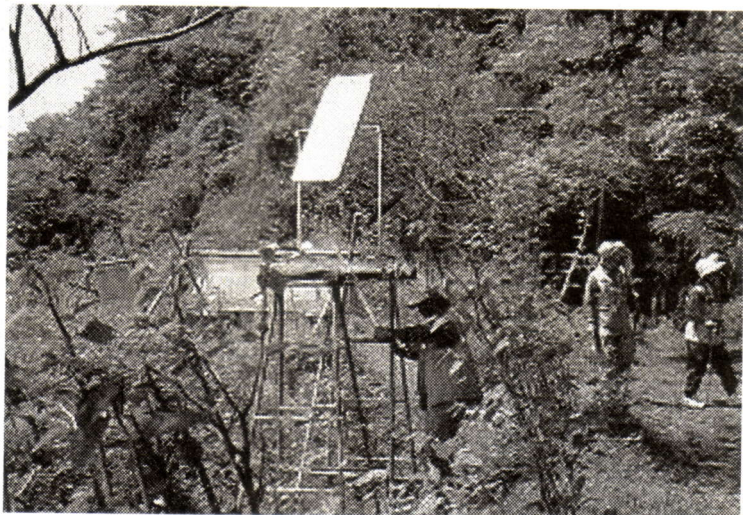


トンネルで日食観測

多治見と愛知・春日井市境
旧国鉄中央線の廃線跡

22日観望会



旧中央線トンネル内に日食時の太陽反射光を導き入れるための鏡。愛知県春日井市玉野町で(愛岐トンネル群保存再生委提供)

多治見、愛知県春日井市境に残る旧国鉄中央線廃線跡の4号トンネル(JR定光寺駅近く、長さ七十五メートル)で二十二日、「日食観望会」が開かれる。

庄内川沿い八・五キロに残る廃線跡を市民の手で買い上げる活動を展開している「愛岐トンネル群保存再生委員会」(山本勝利理事長)が、同日の日食に合わせて企画した。川沿いに設けた大きな鏡を使い、太陽反射光を真っ暗なトンネル内の壁に映し込む。刻一刻欠けていく太陽の姿を見ることができる。

大きな鏡で反射光 壁に映す

春日井での日食スタートは午前九時五十分。日食が最大となる同十一時八分には太陽の約80%が月に隠される。終了は午後零時二十六分。廃線跡は午前九時半に開門し、午後一時に閉門する。当日、雨曇天の場合は中止。参加無料。事前申し込みは不要だが、現地に駐車場は一切なく、必ずJRを利用するのが参加条件。

委員会は当日、来場者への解説役を務める一般天文ファンを募り、事前登録を呼び掛けている。問い合わせは同委員会(ポトス編集室内) 電0568

(87) 6533 へ。

(都築修)